

ぐんまこどもの国児童会館

にこっと通信

nicotto tsu-sin!



にこっちゃん

2007.4.15

第17号

発行/
ぐんまこどもの国児童会館



ゴールデンウィーク企画
「～まほうの積み木～
カプラで遊ぼう!!」

児童福祉週間

5月5日(土)～11日(金)

見つけよう

みんながもってる いいところ

まつどう かずなり
(松堂 一成さん 10歳 沖縄県)

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の意識啓発や子ども達を対象とした催し物など、様々な取り組みが進められています。



開催日 4月28日(土)～5月6日(日)
時 間 9:30～17:00

何の変哲もない小さな木片カプラ。でも積んでいくとすごい作品ができあがります。一人で、家族で、みんなで...ぜひ体験してみてください。

～星空観察～こどもの国スターフレンド 「お月様と土星を見よう!!」

期 日:5月26日(土)
時 間:18:30～21:00
会 場:スペースシアターと公園
定 員:100名(先着順)
事前申込:4月28日(土)から

この月はデジカメで撮影しました。
プラネタリウムでの解説の後、実際に外に出て月や土星、春の星空を観望します。また、持参したデジタルカメラやビデオカメラで月の撮影に挑戦します。
※デジタルカメラ及びビデオをご持参ください。
※デジタルカメラは一眼レフを除く。また、機種によっては不可能な場合があります。

スペシャルサイエンスショー「おもしろ昆虫教室」

期 日:6月24日(日)
時 間:10:00～11:30
会 場:ハイビジョンシアター
対 象:小学生以上(小2以下は保護者同伴)
定 員:30名(先着順)
事前申込:5月19日(土)から

ぐんま昆虫の森の先生をお呼びし、人間と昆虫のかかわりや、カブトムシの飼育方法などのお話を、映像をとりまぜながらします。実際に昆虫にふれてみたり、楽しい昆虫クイズに挑戦!
共 催:ぐんま昆虫の森



ぐんま母親クラブフェスティバル ～ひかっているネ お母さん～



地域のお父さん、お母さんが、今年も楽しい催しをたくさん開催します。人形劇や影絵、工作などがいっぱいです!!

開催日 5月20日(日)
時 間 10:00～15:00
会 場 館内各所、他

休館日

4月...2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)

5月...1日(火)・7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)

6月...4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL.0276(25)0055 FAX.0276(25)0059
URL <http://www.sunfield.ne.jp/kodomo01/>

平成19年度 ぐんまこどもの国児童会館 幼児向けプログラム紹介!

いよいよ新年度です。ぐんまこどもの国児童会館で平日行っている、幼児向けプログラムをご紹介します。
このプログラムはどれも会員制や同じメンバーでのお教室ではなく、毎回誰でも気軽に参加できるので、育児についての様々な情報交換や、子どもたち、お母さん同士などの交友を広げる場としても活用できます。ぜひ、一度あそびに来てください。

♥…当日、直接会場にお越しください

★…実施約1ヶ月前から事前申込です



多目的ホールの広いスペースで、手遊び、親子遊び、パネルシアターなど、親子でふれあう時間です。体をたくさん動かして、のびのび遊びましょう。

平成19年 4/12・26	5/10・24	6/7・21	7/5・19	9/13・27	すべて水曜日
10/11・25	12/13	平成20年 1/17・31	2/14・28	3/13	
時間		10:30~11:30		会場 多目的ホール	



乳児と保護者を対象に、ベビーマッサージ体験や育児相談などを行います。また、ハーブティーなどをいただきながらの茶話会も行います。お母さん同士の情報交換の場にどうぞ。

平成19年 5/18	7/20	9/21	10/19	12/21	平成20年 2/15	すべて金曜日
時間		①10:00~、2ヶ月~6ヶ月児とその母親 ②11:00~、7ヶ月~1才未満児とその母親		会場 ①第1研修室 ②第2研修室		
定員		各回先着15組		参加費 500円		持ち物 バスタオル・座布団・オムツかタオル



時間中、プレイルームでスタッフやボランティアと一緒に、子育てのあれこれを、楽しくおしゃべりします。

平成19年 4/25	5/30	6/27	9/26	10/31	すべて水曜日
11/28	12/19	平成20年 1/30	2/27	3/26	
時間		10:30~12:00		会場 プレイルーム	



スタッフやボランティアによる、あかちゃん絵本の読み聞かせや図書案内を行います。あかちゃんの時から絵本に親しみ、絵本好きのお子さんに育てましょう。

平成19年 5/2・16	6/6・20	7/4・18	9/5・19	10/3・17	すべて水曜日
11/7・21	12/19	平成20年 1/16	2/6・20	3/5・19	
時間		13:30~14:30		会場 こども図書室又はプレイルーム	

★お母さんのリフレッシュタイム(年間5回実施予定)

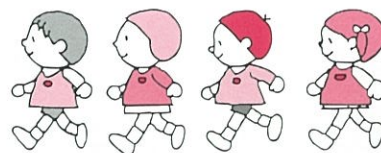
いつも子育てや家事に忙しいお母さんに、心も身体もリフレッシュしてもらいます。クラフト、体操、お抹茶などなど毎回様々な内容で楽しくすごせます。託児もあります。



★子育てセミナー(年間5回実施予定)

子育て中のお母さん、お父さん、祖父母などを対象に、毎回様々な角度から育児についての講義や実習を行います。お母さんが講義に集中できるように託児もあります。

インターネット時代の子育て



ー子どものネット利用を考えるー

携帯電話やインターネットといったデジタルメディアが、今では子どもの遊びの主流になってきています。しかしこれらのメディアは、楽しい、便利といった利点がある反面、いろいろな危険性も潜んでいます。今回は、これらのメディアについて見つめ直してみます。

<子どもとネット社会>

子どもたちにとってインターネット(ネット)やパソコンは、お絵かき(ペインティング)・ネットゲーム(オンラインゲーム)・チャット・掲示板・ホームページ作成など遊びの世界から広がりました。

これらの遊びから始まるものは、クラスメイトや友だち、そしてネットの掲示板やチャットで繋がった人を含め急速に広がって、小学生でも利用が進み始めています。

平成16年佐世保で起きた小6女児殺害事件では、加害女児が作ったホームページに、仲の良かった友だちの書き込みをめぐってのトラブルが直接のきっかけでした。この事件は、おとなしい普通の子が起こしたことで、多くの人に衝撃と教訓を残しました。

<ネットの特性と子ども>

子どもたちがネットを使って、知っている人や所在のはっきりした団体や機関・企業のホームページを見たり、そこへのメールを交わすことは、相手がウィルスに感染していない限り問題は起こりませんが不特定多数の人が使う掲示板、チャットには、匿名の言葉による暴力や脅しが、ネットゲームにはゲームにはまり込み、日常生活が乱れるネット依存の危険性が待ち受けています。

<ネットで変わる子どものころ>

自分の好きなことや興味のあることをネットで検索をし、その内容が瞬時に提供されるネット社会は、ネットサーフィンを続けることによって楽しさが増していきます。孤独な子どもたちは、ネットによって、自分と同じ趣味の人が大勢いることがわかり、嬉しくなると同時に孤独感はいつの間になくなり、見るだけで満足出来なくなると、掲示板に自分の趣味のことを書き込み、それを読んだ他人から返事が返ってくると、自然に同じ趣味でフィーリングが合う仲間が増え、ネットの仮想社会にこころの居場所ができ、ネットの世界に居心地の良さを感じ、些細な批判やネットのやり過ぎを大人が注意すると、猛反発を招くことがしばしば起こることもあります。ネットゲームにはまり込んでゲーム以外に何もしなくなった人を「ネット依存」

と呼びます。その状態の子どもを普通の生活に戻そうとネットの使用を禁止すると、ネットの中にある仮想社会のこころの居場所は自分の存在の証明でもあり、ストレス発散の癒しの場所だったためか、ひどい家庭内暴力が起きることがよくあります。

<ネットから子どもを守るために>

ネットゲームやチャット・掲示板などをやっていたり、自分のホームページを開いている子どもが遅刻することが多くなり、授業中の居眠りが始まったり、体調不良で保健室への利用が多くなった場合は、深夜までネットをしているために、寝不足が起こり、生活リズムの乱れが起きているのではないかをチェックする必要があります。また機嫌が悪いことが多かったり、気分の変動が激しかったり、孤独感が強くなったり、家の人と話す時間が少なくなった場合もチェックが必要です。

子どもが出会い系などの有害サイトやネットゲームで使用する高価なアイテムを売買する違法行為をしているサイトを利用している様子が伺われる場合は、ネットの履歴検索をし、その結果利用していた事実がわかれば、まだ自我が確立していない子どもの場合、トラブルに巻き込まれて、こころに傷を付けることもあるので十分な注意が必要です。

親はネットのことやパソコンのことはわからないから「子どもに任せてある」では、すまされない時代なのです。

しかし、現代社会では、パソコンやケータイをすべて切り離した生活は不可能でしょう。こうした有害情報から子どもたちを守るにはどうすればよいか? ポイントをあげてみましょう。

◎インターネットやケータイについて親子で勉強する

◎ルールとマナーを親子で共有する

◎フィルタリングソフト(サービス)の導入

この3つの他にもインターネットやケータイの最新犯罪情報とその対応策についても知っておく必要があります。

《参考文献》

牟田武生「子どものネット利用の現状と課題」

中川紀彦「有害情報から子どもをどう守るか」

(「児童心理」2005年2月号所収)

「こどもの国 親子スキーツアー」



記録的な暖冬だった今年の冬、児童会館初の試みでスキーツアーを開催しました。その模様はいかに…

3月11日(日)のまだ薄暗い朝6時に大型バスに乗り込み、こどもの国を出発した親子15組36名。目指すは「軽井沢スノーパーク」!!

朝のうちは雨模様でしたが、軽井沢I・Cを降りた辺りから雪にかわり、北軽井沢に近づくにつれ、まっ白な雪景色で、車中の子供たちは大喜びでした。

9時過ぎにスキー場に到着すると、早速ウェアに着替え、ゲレンデへGO! 今回は、初心者の年中児以上とその保護者を対象としたので、ゲレンデでは「スベロークラブ」のベテランコーチが待ち構えていました。レベルによって5班に分かれ準備体操からスタート。スキーの板をはいたことのない子供たちは、まず片足はいて滑る練習から。でも、さすがは柔軟な子供達なので、1時間すると初級向けのゲレンデにでてボーゲンの練習ができるようになりました。

もちろん、経験者の班はリフトに乗って、何度も滑走を楽しんでいました。11時半まで、ほとんど休みなくレッスンを受け、お待ちかねのお昼ご飯。カツカレーをレストランで食べ、午後のスタートは宝探しゲームから。雪の中に隠されたナンバープレートを一入1枚探しだし、何がもらえるかは帰りのバスのお楽しみに。

その他、軽井沢スノーパークはチュービングやソリ遊びのゲレンデも整備されていて、午後のフリータイムはそれぞれお目当ての遊びにチャレンジです。チュービングはスリルもあって、おすすめです。

3時まで自由に遊び、帰りのバスはジャンケン大会で大盛り上がりでした。朝早く起きた子供たちでしたが、帰りのバスもみんなパワー全開で(でも、父さん、お母さんはちょっとお疲れモードでしたが)、5時過ぎには無事こどもの国に到着しました。

来年も開催できたら、ぜひみなさんも参加してみてくださいね。

ぐんまこどもの国児童会館にAEDを設置しました



あなたの近くにいた人が突然倒れ、大変! 心臓が止まってしまった様子です!! こんな時、一刻も早い人工呼吸、心臓マッサージが必要です。それに加え、

除細動器(AED等)で心臓に電気ショックを与えると救命率は一層高まります。

2月25日、ぐんまこどもの国児童会館では、1階インフォメーションに「AED」除細動器を設置し、当館スタッフが取り扱いの説明を受けました。

近頃のショッピングモールや色々な施設などで見かける、赤い色の箱…。この除細動器は医療知識や複雑な操作もいらず、機械からの指示に従ってスイッチを押していくだけで使えます。また、心臓マッサージが必要かどうかは自動的に判断するので、医療知識も技術もない一般の人も使えます。

備えあれば憂いなし!! でも、みんな元気に笑顔で遊んでもらえるのが一番ですね。



紹介します

「富岡児童館」

このコーナーは、県内の児童館を紹介します。
楽しい行事や特色ある遊具などをお話していきます。

〒370-2316 富岡市富岡1439-1 TEL 0274-89-2024

開館時間 9:00~18:00

休館日 月曜日・火曜日から金曜日の間の祝日・
年末年始(12/29~1/3)



今回は、昨年4月にオープンした富岡児童館をご紹介します。

富岡児童館は、以前はデパートだった建物を利用した、「あい愛プラザ」という3階建ての複合施設の3階にあります。駅前にあるので交通の便が良く、電車で遊びに来る子どもや親子もいるそうです。

施設内には「ボランティアサポートセンター」や「地域包括支援センター」、また、妊婦さんや乳幼児を子育て中の保護者が集う「親と子のスマイルサロン」などがあり、色々な人が集い交流する場となっています。

この日はぐんまこどもの国児童会館の移動児童館を、富岡児童館で行うため、取材スタッフも同行し、おじゃましてきました。

今回の移動児童館は土曜日の開催ということもあり、たくさんの親子連れの参加がありました(お父さんの参加も多かったです!)。先生から「富岡だけではなく、近隣市町村からも申し込みがあったんですよ。」とお話しのとおり、「今日は電車であそびに来た」という子どももいました。

移動児童館終了後、遊戯室に卓球台や遊具が登場すると、小学生や親子連れが卓球をしたり、工作をしたり…と思い思いに遊んでいました。仕切りがない広いフロアなので、遊んでいる様子が良く見渡せます。おもちゃや遊具はほとんど先生方手作りで、廃材を利用するなど、とても工夫されていました。

担当の古田先生にお話を伺ったところ、「小学生だけではなく、中学生や高校生の利用もあるんですよ。中には、色々な悩みを抱えて児童館に遊びに来る子どももいるんです。そんな子ども達が、いつでも利用できる児童館にしていきたいんです。」とおっしゃっていました。

遊びに来た子どもや親子一人一人に元気に声をかける先生方。先生達の明るい笑顔とパワーは、子どもやお母さん方に安心感と元気を与えることでしょう。



こどもの国無料貸出自転車のお知らせ

東武三枚橋駅前からぐんまこどもの国への来園者へ、
自転車の無料貸出しを行っています。

設置場所: 太田市鳥山下町642-3(三枚橋駅東側)

利用期間: 4月~11月までの、土・日・祝日と

群馬県民の日(10/28)

※ただし、春休み期間は毎日

利用時間: 9:00~17:00

(17:00までにかならず返納)

利用年齢: 小学校4年生以上

※小学生は保護者の了解と、中学生以上は身分を証明できるものを確認させていただきます。



● 詳しくは、下記までご連絡ください ●

太田市役所 花と緑の推進課 TEL(直通)0276-47-1840

三枚橋無料貸出自転車管理事務所 TEL 0276-25-6160(貸出日のみ)

編集後記

日本の学校では一般的に4月。シンガポールは1月で、ハワイは8月。新学期。国が違えば歴史やしきたりも違うから、色々な月がある。けれど、みんなドキドキワクワク。それは同じ。